

警察庁によると、近年横ばいが続いていた薬物事犯の検挙人員は2022年、1万2142人と前年比で1720人減少しました。

このうち、覚醒剤事犯は6124人で、前年から1700人も減少しました。

大麻事犯の検挙人員は5342人で、過去最多だった前年より140人減少しました。一方、同じく横ばいが続いていた営利犯検挙人員は1028人と、前年比

## 薬物事犯の発生状況

で53人増加しました。このうち、覚醒剤事犯は450人と前年よりやや減少したものの、暴力団構成員等が4割以上を占めています。

また、近年増加がみられる大麻事犯の営利犯検挙人員は、436人で、過去最

多を記録した前年を超える高い水準にあり、若年層がSNS等で安易に手を出さないよう、社会全体で見守りが必要です。

防犯一口メモ